

手術中の血圧変化の予測モデル推定に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター麻酔科では、「ヒストリカルボラティリティを用いた全身麻酔管理中における循環動態変動の予測」の研究を行うことになりました。

この研究の目的は、全身麻酔中の患者さんの手術中の血圧の変化の傾向を調べて、血圧の変化の傾向が特定の予測モデルに適合しているかどうかを明らかにすることです。

この研究のため、2018年1月1日より2019年12月末までに全身麻酔で手術した方の【手術中の血圧の変化の推移】の調査を行います。対象となるのは予定手術で全身麻酔を行い、手術中に観血的動脈圧カテーテルによる全身管理を行われた方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（手術の術式、時間経過に伴う血圧の変化、手術中に行った医学的処置の情報）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2020年11月

研究責任者

東京医療センター 麻酔科

入江 駿

連絡先 03-3411-0111(代表)